

## 第5学年こだわり Kids Time（総合的な学習の時間）活動案

日時 平成16年9月9日(木)1・2校時  
場所 開拓記念公苑  
対象 奥中山小5年児童  
(男9名 女4名 計13名)  
奥中山小すずらん学級児童  
(5年女1名 6年女1名 計2名)  
みたけ養護学校奥中山校小学部児童10名  
指導者 筒井 裕一(奥中山小学校)  
長村 克稔(奥中山小学校)  
加賀谷真紀子(みたけ養護学校奥中山校)

1 単元名 「奥小みたけなかよし交流会(交流オリエンテーリング)」

2 単元について

(1) 単元について

本校では、総合的な学習の時間で育てたい子ども像を「命を大切にし、よりよく生きる子ども～地域から発し、自然、人、未来と進んで関わりをもてる子ども～」とした。

こうした子ども像の実現に向けて、5年生では110時間の総合的な学習の時間を下記のように、学級総合・トピックス総合の2つに分けて実施している。

第5学年 総合的な学習の時間年間指導計画	110時間
学級総合「奥中山を盛り上げよう～祭りに込めた地域の思い～」	64時間
8月から2月末にかけて実施する。奥中山のイベントについて取材する活動を通して、それを支えている方々の地域に対する思いを知る。	
トピックス総合	46時間
・ 英語の活動(通年)	25時間
・ ちびっ子農園(5月～9月中旬)	5時間
・ プナ林観察(7月14日に実施)	6時間
・ <b>奥小みたけなかよし交流会(10時間)</b>	

本単元「奥小みたけなかよし交流会(交流オリエンテーリング)」はトピックス総合に位置づけられた本校とみたけ養護学校奥中山校(以後「みたけ」と省略)の児童との交流学習である。

私たちの身の回りには、たくさんの方がいて互いに支え合って生きている。その中には高齢者や体の不自由な方など様々な人たちがいる。この世に生を受けた全ての方が、差別されたり偏見の目で見られたりすることなく、どの人もみな価値ある一人の人間として尊ばれ、共に支え合いながら精一杯生きる中で一人一人が生きる喜びを味わえるような社会をめざすことが大切である。

低学年の頃から、みたけの児童とふれ合ってきている5年生の児童ではあるが、外での活動経験はない。また、みたけの児童とほぼ1対1でかかわることも初めてである。校外に出て、協力

し合いながら共に楽しい時間を過ごすことは、自分にできることは何かを考えること、思いやりの心を育てること、相手の思いを受け止めようとするにつながる。このような経験を積み重ねることで、他者と進んでかかわり、それぞれのよさや違いを理解し、よりよい考え方や行動とは何かを考え、それに向かって行動していこうとする児童を育成することができると思った。

## (2) 児童について

5年生の児童は、特別支援教育学級に在籍するA子と、音楽・英語の活動の時間に継続して交流してきている。各種学校行事でもA子は5年生の一員として活動してきている。

また、みたけとも、1年生で「みたけランドで遊ぼう」、3年生で「ホッケー大会」、4年生で「交流リレー」の3回の交流学习を経験している。この他にも、毎年4月には対面式を、運動会では毎年綱引きと1・2・3年による玉入れをそれぞれ一緒に行っている。

このように、5年生児童は低学年の頃から交流を積み重ねてきているため、みたけの児童や特別支援教育学級在籍の児童に対して「何かしてあげたい」という気持ちを持ちながら自然に接することができる児童が多い。ただ、その様子を見てみると、「自分のしてあげたいことをしてあげている」ことが多く、「相手のニーズや気持ちを受けて行動する」というレベルには至っていない。

こうした実態から、5年生というこの時期にオリエンテーリングという活動を通して、相手の思いやこの活動に参加するねらいを実現するために、自分なりの援助の仕方を考え行動することは、思いやりの心や相手の気持ちを受け止めようとする態度を育てる上でも、また、自分や友達のよさを発見する上でも有意義なことであると考えます。

## (3) 指導にあたって

仮説1とのかかわりから、活動のプロセスを重視し一人一人が考え、活動し、満足感や充実感をもつことができるようにしたいと考える。

そのために、「計画する」の段階では、交流オリエンテーリングのネーミングを考える活動を通して活動の趣旨を理解させる。その後、休み時間など可能な限りみたけに出向き、みたけ児童や教職員とのふれ合いを多くすることで、一人一人の特徴やそれに対する対応などを理解したり疑問に思ったことを直接相談したりできるようにしたい。こうした活動をもとに、オリエンテーリンググループ決定後は、グループ員のめあてを共有し、その実現のために何ができるかを考えさせていきたい。

「活動する」の段階では、全員が協力することで解ける問題を用意し、チェックポイントにいる教師は、交流の様子を観察したり記録したりし、「振り返る」段階での表彰の参考とする。通

常のオリエンテーリングとは違い、グループ全員とのふれ合いや楽しい時間を共有することを大切にさせる。

「振り返る」の段階では、一人一人が心に残ったことや楽しかったことなどを表現したものを壁新聞にまとめる活動を通して、グループ内でさらに交流を深めさせるとともに、それぞれのよさや頑張りを認め合う場としたい。また、作成した壁新聞を互いに見合うことで、グループの枠を越えた認め合いを促したい。さらに、5年生児童による感想交流会を開催し、そこへみただけの先生方をお招きし児童一人一人に対してこれまでのかかわり方について具体的に助言をいただくことで、今後の活動意欲につなげていきたい。

### 3 ねらい

みただけ養護学校奥中山校との交流活動を通して、思いやりの心や相手の思いや願いを受け止める心を育てるとともに、相手の思いや願いを実現させるために自分ができることを考え、実践する力をはぐくむ。

### 4 学習活動計画（10時間）

#### （1）計画する（4時間）

- オリエンテーション・ネーミング決定 ..... 1時間<各学級>
- 活動グループ決定・自己紹介カード作成 ... 1時間<各学級>
- 顔合わせ（奥小・みただけ合同活動） ..... 2時間<奥小みただけ合同>
  - ・ オリエンテーション、グループ名・めあての決定
  - ・ グループ旗製作

#### （2）活動する（3時間...120分）

- なかよし交流会（オリエンテーリング） ..... 3時間<奥小みただけ合同> **本時**

#### （3）振り返る（3時間）

- 活動の感想をまとめる ..... 1時間<各学級>
- グループごとに壁新聞を作る ..... 1時間（60分）<奥小みただけ合同>
- 感想交流会 ..... 1時間<奥小>

### 5 本時の活動

#### （1）本時のねらい

グループ内全員のめあてを実現させるために、自分ができることを実行することができる。他者とのふれ合いを通して、自分のよさや友達のよさを見付けることができる。

#### （2）評価

グループ内全員のめあてを実現させるために事前に考えておいた支援を行うことができたか。自分のよさや友達のよさを見付けることができたか。

### ( 3 ) 本時の展開



## 第 5 学 年 座 席 表

仲よしファイターズ <めあて> みんなで考えて、楽しい仲よしキッズタイムにしよう。

A	B	すA	みA	みB
<p>みA チームの中で何かを決めてやりがいを持たせて、ほめてあげる。</p> <p>みB 一緒にいるだけで楽しめるようにたくさん話しかける。</p>	<p>みA 一緒に行動すると約束をして、できたらほめる。できることはどんどんやらせる。</p> <p>みB 無理に座らせたり止めたりしないで、みB君のペースに合わせよう。声をかけたり横に着くと落ち着くようなので、横に並んで歩きながら話しかける。</p>	<p>友達の良いところをたくさん見付けて、みんなが喜ぶように教えてあげる。みんなが楽しい気持ちになるような話し方をします。</p>	<p>グループメンバーと一緒に活動を楽しむことができる。約束を守って行動する。</p>	<p>友達と活動を楽しむことができる。</p>
<p>心にゆとりを持って活動できるように、自分も楽しむよう声がけをする。</p>	<p>事故防止など必要な場合以外は、みBは本児に任せ、見守る。</p>	<p>見付けた友達のよいところを確認し、それを本人に伝えさせることで、めあてに向けての意欲を喚起する。</p>		

元楽心チーム <めあて> 元気に楽しく心に残るオリエンテーリングにしよう。

C	D	すB	みC	みD
<p>みC 一人でいるいるなどに行かないと約束を決めて、守れたらほめてあげる。できないだろうと思わないでいるいることをやらせる。</p> <p>みD 次はどこに行くよとか次やことを話してあげて、安心して活動できるようにする。</p>	<p>みC できそうなことは何でもやらせて、ほめてあげる。一人で行動しないと約束をして守れたらほめてあげる。</p> <p>みD 問題を分かりやすく説明してあげて、それを聞いて問題に取り組ませる。</p>	<p>みC君のいいところを見付け、それをみC君に教えてあげる。</p>	<p>一つの活動に興味を示し、友達といっしょに楽しむことができる。約束を守る。</p>	<p>様々な活動を楽しむ。友達や教師の話をよく聞いて行動することができる。</p>
<p>かかわり方についてプラス評価を与えることで、自分のよさに気付かせ、活動意欲を持続させる。</p>	<p>チーム全体に気を配りながら活動できるよう、勝つことよりも楽しむことの大切さに気付かせる。</p>	<p>見付けたよいところを確認し、本人に伝えるよう促し、できたらほめることで意欲を喚起する。</p>		

仲よしキッズチーム <めあて> みんなで力を合わせてがんばろう。

E	F	G	みE	みF
<p>みE 一人でできないと約束をして、手をつないで一緒に行動する。</p> <p>みF 黙って歩いたりしないで、いろいろ話しかける。</p>	<p>みE 問題には、初めにやってみせてから取り組ませるとできると思う。</p> <p>みF チームの中で何かを仕事してもらおう。みF君の好きなことについて話しかけながら歩く。</p>	<p>みE ある程度はお世話をし、できそうなことは何でもやらせてほめる。</p> <p>みF たくさん話しかけて、話をしながらオリエンテーリングをする。</p>	<p>友達と一緒にいくつかの活動をする。必ず友達と行動し、一人でいるんな所へ行かない。</p>	<p>友達と一緒に活動を楽しむことができる。好きな友達の名前を覚える。友達と簡単な会話ができる。</p>
<p>自分の支援を実行するのに遠慮することのないよう声がけをする。</p>	<p>支援のプランと取り組みのよさを話し、自信を持って活動させる。</p>	<p>本児らしいかかわりができるように、ある程度距離を置いて見守る。</p>		

ひまわりチーム <めあて> みんなで協力して仲よくなるよう。

H	I	J	みG	みH
<p>みG みGちゃんが得意な問題はやらせてあげる。家の手伝いのことかをいろいろ聞いて話をします。</p> <p>みH みHちゃんが得意な問題はやらせてあげる。一人で離れて行ったら、驚かせないように声をかけてから手をつなぐ。</p>	<p>みG いろいろなことを話したり、みGちゃんの好きな歌を歌ったりしながら歩く。</p> <p>みH どうしても動けなくなったときは、びっくりさせないように正面から行って手をつなぎ、少し強く引っ張って動くようにする。</p>	<p>みG こちから話しかけると必ず応えてくれるので、たくさん話しかける。</p> <p>みH 手をつなぐのが嫌いなようなので、二人ではさむようにして歩く。みG好きな折り紙の話をします。</p>	<p>一つの活動に興味を示し、友達と一緒に楽しむことができる。友達からの働きかけに応じ、簡単な会話ができる。</p>	<p>友達と一緒にいくつかの活動を楽しむことができる。一人でいるんな所に行かない。友達と一緒に行動する。</p>
<p>みGやみHができることは何かを常に考えさせながら活動させる。</p>	<p>本当の仲よしの関係について考えさせ、ダメなことはダメとはっきり言うことに自信を持たせる。</p>	<p>周りが自信を持ってかわりをもてるよう、友達のよい点を見付け進んで表現させる。</p>		

キッズチーム <めあて> いっしょに楽しく遊ぼう。

K	L	M	みI	みJ
<p>みI 安心して動けるように、短い言葉で教えたり、片方の手を取ったりして案内する。</p> <p>みJ 誰かを呼ぶときは代わりに呼んでもらう。</p>	<p>みI 安心して歩けるように、両手でなく片手を握って周りの状況などを話して教える。</p> <p>みJ 簡単な用事や伝言を頼んで、同じチームの人と話ができるようにする。</p>	<p>みI 声をかけたり、片手だけつないで歩いて、安心させながらコースを回る。</p> <p>みJ みJ君からは話さないの、自分からたくさん話しかけて、いっぱいおしゃべりする。</p>	<p>友達と一緒にいくつかの活動を楽しむことができる。友達からの働きかけに、声を出して応じることができる。</p>	<p>友達と一緒に活動を楽しむことができる。グループ全員の名前を覚え、名前を呼び合って活動する。</p>
<p>かかわり方についてプラス評価を与えることで、自分のよさに気付かせ、活動意欲を持続させる。</p>	<p>事故防止など必要な場合以外は、みIは本児に任せ、見守る。</p>	<p>本児らしいかかわりができるように、ある程度距離を置いて見守る。</p>		

印...みたけ児童の当日のめあて

印...みたけ児童のめあてを達成するために奥小児童の考えた支援

印...奥小児童への教師の支援